

教科名	数学	学年	3 学年
-----	----	----	------

目 標	数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに，日常の事象を数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力，基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。 (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し，数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。
学年の目標	数学の基礎的・基本的な概念や性質に触れ、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。 数学的活動を通して、考察したり、表現したりする力を養う。 数量や図形について、基礎的・基本的な事柄を理解し、表現・処理する技能を身につける。

月	時数	単元名 題材名	単元目標 (観点別の目標)	学習内容	評価の観点 (生徒の達成度を A～D の 4 段階で総合評価)
4 5 6 7 8 9	1 7	A 数と計算	【知識及び技能】 ・整数，分数の計算についての意味や法則について理解し，それらを計算する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力】 ・数とその表現や数量の関係に着目し，目的に合った表現方法を用いて数量の関係を簡潔かつ一般的に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさを実感し，学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	①整数の性質 ・加法、減法、乗法、除法 ・金銭（計算、買い物、管理） ・偶数、奇数 ②分数 ・加法・減法の意味、大きさの等しい分数 ・同分母の加法減法の計算と練習	【知識・技能】 1 段階：金銭の扱いについて理解することができる。 2 段階：金銭の扱いとともに、適切な管理方法について理解することができる。
					【思考・判断・表現】 1 段階：買い物や金銭管理にまつわる計算について、正しい計算方法を選択することができる。 2 段階：買い物や金銭管理にまつわる計算について、模擬的なお金等を利用し、適切な金額を支払うことができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階:学習したことを生活や学習に結びつけて考えることができる。 2 段階：学習したことを生活や学習に生かすことができる。
					評価方法：授業プリント、発言・発表、取り組みの様子、感想
10 11	1 2	B 図形	【知識及び技能】 ・平面図形を縮小したり，拡大したりすることの意味や，立体図形の体積の求め方について理解し，立方体，直方体，角柱の体積を求めたりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力】 ・図形の性質を見いだすとともに，立方体，直方体，角柱の体積の求め方を考え，その表現を振り返り，簡潔かつ的確な表現に高め，公式として導く力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさを実感し，学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	①縮図、拡大図 ・縮図、拡大図の理解 ②体積 ・立方体、直方体の復習 ・単位 ・立方体、直方体の体積 ・角柱の体積 ※公式の成り立ち、単位との関連の観点を取り入れる	【知識・技能】 1 段階：体積の求め方を理解することができる。 2 段階：縮図、拡大図の意味を理解し、体積の求め方を理解し、正確に求めることができる。
					【思考・判断・表現】 1 段階：面積と体積の単位を関連させて考察することができる。 2 段階：数値と実際の大きさや量の関係を考察することができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階:学習したことを生活や学習に結びつけて考えることができる。 2 段階：学習したことを生活や学習に生かすことができる。
					評価方法：授業プリント、発言・発表、取り組みの様子、感想

12 1	1 2	C 変化と関係	【知識及び技能】 ・比例や反比例の関係，比について理解するとともに，伴って変わる二つの数量を見だし，それらの関係について表や式を用いて表現したり，目的に応じて比で処理したりする方法についての技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力】 ・伴って変わる二つの数量の關係に着目し，目的に応じて表や式，グラフを用いて変化や対応の特徴を考察したり，比例の關係を前提に二つの数量の關係を考察したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさを実感し，学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	①伴って変わる二つの数量 ・比例の關係の意味や性質 ・反比例の關係 ・表、式、グラフの表現、及び変化や対応の特徴、日常生活への活かし方 ②二つの数量の關係 ・比の意味や表し方 ・数量關係を比で表現する ・等しい比を作る ・日常の事象における数量の關係を図や式などを用いた比べ方を考察し、日常生活に生かす	【知識・技能】 1段階：表から座標平面上に点を書くことができる。 2段階：比例のグラフを描くことができる。 【思考・判断・表現】 1段階：グラフを読み、考察することができる。 2段階：グラフを読み、変化や特徴を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1段階:学習したことを生活や学習に結びつけて考えることができる。 2段階：学習したことを生活や学習に生かすことができる。 評価方法：授業プリント、発言・発表、取り組みの様子、感想
1 2	1 1	D データの活用	【知識及び技能】 ・量的データの分布の中心からデータの特徴を読み取る方法を理解するとともに，それらの問題解決における用い方についての技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力】 ・目的に応じてデータを収集し，データの特徴や傾向に着目して，表やグラフに的確に表現し，それらを用いて問題解決したり，解決の過程や結果を批判的に捉え考察したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさを実感し，学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	①データの収集とその分析 ・代表値（平均値、中央値）の意味や求め方 ・統計的な問題解決の方法 ・データの収集とその分析 ②起こりうる場合 ・起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの用い方 ・事象の特徴に着目し，順序よく整理する観点を決めて，落ちや重なりなく調べる方法の考察	【知識・技能】 1段階：平均値を求めることができる。 2段階：平均値、中央値の意味を理解し、求めることができる。 【思考・判断・表現】 1段階：データを簡単なグラフに表現することができる 2段階：起こり得る場合を順序よく整理することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 1段階:学習したことを生活や学習に結びつけて考えることができる。 2段階：学習したことを生活や学習に生かすことができる。 評価方法：授業プリント、発言・発表、取り組みの様子、感想